

9月1日は「防災の日」

大地震に備えて自宅での安全確保を考えましょう！

問合せ先 防災安全課防災安全グループ (☎84-5035)

南海トラフ巨大地震(理論上最大クラス)が発生した場合、亀山市では死者約80人、負傷者900人という被害が想定されています。

阪神・淡路大震災では、約80%以上の人々が家具などの転倒により圧死したと言われています。

「自分の命は自分で守る」という自主防災対策の1つとして、自宅での安全確保を考えてみましょう。

自宅での安全確保のために

1. 自宅の安全対策を行いましょ

自宅で被災生活を送るためには、自宅の安全確保が重要です。市の取り組みを活用して、自宅の安全を確保しましょう。

■家具の転倒防止

全ての世帯員が65歳以上の世帯や在宅で介護保険制度の要介護認定3から5の認定を受けた人が属する世帯などに対して、家具等転倒防止金具の支給や取り付けを無料で行っています。大切な人の命を守るために、転倒防止器具を取り付けましょう。



L字金具

ボール式器具

■自宅の耐震診断と耐震化

木造住宅の耐震診断を無料で実施しています。また、改修が必要と診断された木造住宅に対し、耐震改修費用の一部を補助しています。

※自宅の耐震診断・耐震化は、昭和56年5月以前着工の木造住宅が対象です。

問合せ先 建築住宅課住まい推進グループ (☎84-5038)

2. 必要な物を備蓄しましょ

災害発生直後は、ライフラインなどが途絶える可能性があることから、食料品や日用品の備蓄が大切です。備蓄量の目安は、最低3日分(1週間程度が理想)です。

【具体的な備蓄物と数量の目安】

- 飲料水 3日で9ℓ/人(1日あたり3ℓ/人)
- 食料品 クラッカー、缶詰など調理しないで食べられる物、食べ慣れた物をローリングストック(※)しましょう
- 災害用携帯トイレ 3日で15パック/人(1日あたり5パック/人)



※ローリングストック(循環型備蓄)

普段使っている食料品や日用品を少し多めに買い置きし、生活の中で定期的に使いながら買い足して、一定の備蓄量を保つ方法です。



市内における災害の被害想定や自宅での安全対策などについて、詳しくは「亀山市総合防災マップ～わたしの防災マップ～」をご確認ください。

亀山市総合防災マップ

検索